

海外安全対策情報平成27年度第3四半期（10～12月）

1 社会・治安情勢

- (1) テロや内戦はありませんが、住居侵入強盗事件・路上強盗事件・カージャック事件が頻発して発生しています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人被害事案

- (ア) 10月16日の日中、マラウイ北部のムズズにおいて、在留邦人の住居に空き巣が侵入し、多数の電子機器が盗まれました。夜間は警備員を配置していましたが、日中は警備員を配置していませんでした。
- (イ) 10月18日の日中、リロングウェ市エリア3の邦人が多数居住する集合住宅において、邦人の捨てた書類（漢字で邦人の宛名が記載された書類）を悪用され、敷地内に強盗が侵入しました（入口の警備員を【書類の届け物】だと欺いた）。その後、誰も居住していない住居のバーグラバー破壊し、室内に侵入しましたが、大型テレビを持ち出そうとしているところを、警戒していた警備員に発見され、そのまま逮捕されました。
- (ウ) 12月6日の22時頃、リロングウェ市エリア3のリロングウェゴルフクラブにおいて、音楽コンサートに出席していた邦人2名が帰りの際に、流しのタクシーを拾い乗り込もうとしたところを、約10人組の強盗に襲われ、バッグを強奪されました。
- (エ) 12月22日の夜間、マラウイ中部のカスングにおいて、邦人が長期滞在していたロッジにパンガ（ナタ）で武装した5人組の強盗が侵入しました。強盗は高いレンガ塀の一角を打ち破り敷地内に侵入し、寝入っていた警備員2名をロープで縛り上げて拘束しましたが、警備員に出入り口の鍵を要求しているところで、異変にいち早く気付いたロッジのマネージャーにより、車輛のライトを点滅させながらクラクションを鳴動させ、5人組の強盗を退散させました。邦人に怪我は無く、被害は警備員の携帯電話と所持金のみでした。
- (オ) 12月22日、リロングウェ市の邦人が居住する集合住宅において、空き巣被害が発生しました。同邦人が長期不在中に窓の鉄格子が破壊され、テレビ機器等が盗難されました。
- (カ) 12月24日の日中、リロングウェ市エリア2のバスターミナルにおいて、邦人がミニバスに乗車し出発を待っていたところ、窓越しに外の物売りと話していた隙に、座席脇に置いた携帯電話入りのポーチが盗まれました。

(2) 邦人以外の被害事案

- (ア) 10月2日の夜間、リロングウェ市エリア43のノルウェー大の館員の一軒家住居において、7人組の強盗が敷地内に侵入しましたが、すぐに警備員に発見され、屋外非常ボタンのサイレンを鳴動させたことから、強盗は何も取らずにそのまま逃走しました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件の発生情報はありません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は良好であるため、現時点では日本企業であることを理由に問題となる情報はありません。